



Beyond KUSS , 2022 !!



卒業研究と大学選択

明日7月2日(金)は卒業研究発表会です。昨年、7回生は実施できませんでした。今年は防疫対策を十分に講じたうえで実施します。「KP」に苦労をたくさんしてきましたと思いますが、明日の発表会で一区切りです。「卒業研究」・「KP」は本校卒業生の共通経験です。前日にできることは少ないですが、心静かに明日を迎え、しっかり発表し、丁寧に発表を聴き、的確な質問をしましょう。

ひとりひとりが卒業研究(課題研究)に取り組んでいるためでしょうか、他校と比較し、「いろいろなことが学べる(なんでもできる)」という学部を考える人が多いです。そのような要因で名前があがるのは、東京大学教養学部と京都大学総合人間学部です。不思議なことに、京都大学総合人間学部と同様の前身組織をもつ神戸大学国際人間科学部を、同じ理由で希望する人はいません。なぜでしょうか。受験生の大半が大学のしくみを十分に知らないまま、出願校を選択し、大学に進学しているからです。それで大きな問題が発生することはありません。しかし、研究する、大学でさらに研究手法を学ぶ場合は別です。

研究は細分化されていくことによって進化してきました。そして、細分化された研究内容を総合する人物(機関)が登場し、研究は次のステージに移行します。「教養」や「総合」という名を冠する学部は細分化された研究分野の集合体です。それでは既存の学部とどこが異なるのでしょうか。現代につながる近代科学がヨーロッパで発展していきます。その科学の発展過程で形成されていくのが、学問としての discipline です。これが現在の〇〇学の源流です。日本の大学の〇〇学部はこのようにして誕生しました。「教養」や「総合」という名を冠する学部、20世紀にはなかった名称の学部の場合、学問としての discipline を十分に学ぶことができません。

1877年に日本で最初に設立された東京大学、HPには法・医・工・文・理・農・経済・教養・教育・薬と掲載されています。基本的に設立順です。教養以降の3学部が第二次世界大戦後に設立されています。たとえば、教育学部は教育学という学問としての discipline を軸に、哲学、歴史学、社会学、心理学、行政学、さらには図書館学、博物館・美術館学、運動生理学など様々な分野に学問が広がっています。同様の状況は既存の学部にもあります。医学部健康総合科学科、みなさんはどんな風な内容を想像するのでしょうか。今のCOVID19、感染症対策に取り組む公衆衛生学の先端研究に取り組み、途上国の困難を支援する大学院の国際保健学専攻につながっています。

取り組んできた卒業研究、これをもとに、大学での学びをより豊かなものにしましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2022 !』の内容について、SNS等 web へのアップや無断使用しないようお願いします。

大学入学共通テスト模試6月(マーク)模試

全科目正確に自己採点できていたのは11名、全体の1割程度です。合格までの道筋を定めるために自己採点を行います。この自己採点をもとに出願先を決定することになります。し自己採点が正確でないと、合格までの道筋を正しく描くことができません。次回以降、十分に注意しましょう。

個人成績票で自分のマークが正しく読み取られているか確認しましょう。問題冊子にチェックしている内容と個人成績票が異なる場合は要注意です。また、ダブルマークになっている人はさらに要注意です。また、組・番号を正しくマークしていない人が2名いました。模擬試験、成績や判定ばかりを気にするのではなく、正しく受験できているかどうかをしっかりとチェックしましょう。学習の成果を発揮するためには、手続上のトラブルをゼロにする必要があります。

大学入学共通テスト模試6月(マーク)模試 度数分布

省略

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。